

## 「京都プロジェクト（仮称）」に係る配慮書案に対する京都市環境影響評価審査会委員からの主な意見等

令和3年12月24日に開催した令和3年度第4回京都市環境影響評価審査会での意見及び意見を踏まえた答申案を取りまとめた。

環境要素等		第4回審査会での主な意見	答申案
全般的事項	環境要素		
	複数案		
	事業計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 配慮書にはこれら（現行の高さ規制を超える建築物を計画することやホテル誘致といった事業計画の考え方、郵便局機能の配置、交通計画の考え方など）の環境配慮の前提条件を十分記載して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境配慮の前提となる事業計画について、建物用途、地域社会や市民への公共貢献などの具体的な内容を配慮書に分かりやすく記載すること。</li> </ul>
地下水の水質及び水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深く掘削する場合、工事中の周辺地下水位への影響が懸念され、影響範囲をいかに小さくするかが重要である。</li> <li>○ 地下水への影響について、代表案だけでも予測が必要ではないか。</li> <li>○ 地下水調査について、利用用途を踏まえ、事前にヒ素や硝酸性窒素、亜硝酸窒素等についても調査すべきでないか。</li> <li>○ 既に環境基準を超えているものについて事業が与える影響を考慮する必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工事中の地下水への影響について予測を行うとともに、影響範囲が最小限となるよう対策を講じること。</li> <li>○ 今後の環境影響評価の実施に当たっては、地下水調査について利用用途に応じた適切な調査項目を選定するなど、地下水質への影響について配慮すること。</li> </ul>	
廃棄物等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建設発生土の土質によって運搬車両の積載量が変わり、工期が変化することがあり、土質に応じた予測が必要である。</li> <li>○ 環境配慮方針で既存施設の解体に伴う廃棄物の処理・処分、有効利用等の記載がないので記載いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建設発生土の予測に当たっては、発生量だけでなく土質による工期や工事車両の通行量等の変動についても考慮すること。</li> <li>○ 既存施設の解体に伴う廃棄物の処理、処分、有効利用等について配慮書に記載すること。</li> </ul>	

環境要素等	第4回審査会での主な意見	答申案
温室効果ガス等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 温度差利用やエリアでの温室効果ガスの削減・再エネの利用や創出などを考えると、構想段階でそれらを検討する必要がある。早い段階で検討し、都市再生特別措置法の趣旨を十分踏まえ、都市機能の増進をお願いしたい。</li> <li>○ 間接的なものも含め CO<sub>2</sub> 排出量の少ない建築材等の使用、再生可能エネルギー電気を選択、駐車場へのEV充電設備の設置などについても積極的に言及されたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 再生可能エネルギーの利用や創出、環境負荷の低減に資する建築資材の利用など、京都市が目指す「2050年二酸化炭素排出量正味ゼロ」の実現に向けた取組について、立地する地域の都市機能増進の観点も踏まえた考え方を配慮書に記載すること。</li> </ul>
風害	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京都のこのような場所で、高い建物が立地することで、何らかの形で風環境に影響し、風害への懸念はあり、この懸念を共有いただければと思う。</li> <li>○ 風害の予測について、領域の変化だけでなく、実際の数値変化を知りたいので、平均風速や最大風速といった計算量をそのまま示して欲しい。</li> <li>○ 本件は密集した空間に立地するため、建物周辺を含めた空調効率を考えると、強風害だけでなく風通しの阻害（弱風化）の評価も考慮の対象になると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業予定地近隣には人の出入りの多い施設が存在することから、配慮が必要な施設について配慮書に記載するとともに、風害の影響や工事中の安全対策について配慮すること。</li> <li>○ 風害の予測に当たっては、指標による評価だけでなく各評価地点における風速の変化を具体的に示すこと。また、風通しの阻害（弱風化）についても考慮すること。</li> </ul>
その他 (安全対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画地の西隣にはキャンパスプラザ京都があり、当該施設から人の出入りがあるため、キャンパスプラザ京都があることが分かるように適切に記載していただくのがよいと思う。また、これによる人の出入りへの配慮が必要だと思う。</li> <li>○ 京都駅周辺は人も車も出入りが多いので、特に工事中の安全対策に配慮いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業予定地近隣には人の出入りの多い施設が存在することから、配慮が必要な施設について配慮書に記載するとともに、風害の影響や工事中の安全対策について配慮すること。【再掲】</li> </ul>

環境要素等	第4回審査会での主な意見	答申案
<p>その他 (デザイン)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 景観については、ロータリー周りに現状とは異なる建築物ができることになるため、近景への影響に対する配慮が重要と考える。</li> <li>○ 京都駅の建築は、駅舎・駅ビル建築としては世界的に稀有な作品であり、交通機能、公共機能及び商業機能が素晴らしくミックスし、かつ、高密度でデザインされている。本件のビルが建つことで京都駅ビルが隠れるので、駅ビルのデザインなど、駅ビルへの配慮が必要と考える。</li> <li>○ 景観では京都駅との調和が重要である。調和的デザインを含め、景観価値を増進できるようご検討いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本件で建築する施設のデザインに当たっては、京都駅ビルをはじめとする地域との調和について配慮すること。</li> </ul>
<p>その他 (工事中の施設機能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工事期間中も京都の玄関口である京都駅烏丸口は、常に「交通拠点」、「駅前広場との連携」、「防災機能の確保」、「京都の玄関口としてのランドマーク」などの機能を持ち続けなくてはならないと考えられ、工事の実施時に配慮すべき事項についての記述が少ないように思う。走行ルートやピーク分散の検討は重要なことであるが、工事でも公共交通サービスレベルやバス待ち環境・滞留空間としての機能維持を図るための方針について言及いただきたい。</li> <li>○ 京都の玄関口での工事となる以上、工事期間中における玄関口としての機能への影響低減についても言及いただくことが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通拠点をはじめとする京都駅前の機能の維持について、工事中における影響の低減を図るよう配慮し、その方針について配慮書に記載すること。</li> </ul>
<p>その他 (留意点)</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本答申を踏まえた市長意見に基づき、配慮書案の内容に検討を加え、配慮書を作成するとともに、配慮書に記載された環境配慮方針及び内容に従って環境影響評価を行うこと。</li> </ul>